

# 井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立：平成20年3月23日  
 発行：令和6年6月15日 第31号通信  
 責任者：小林孝夫(井の口まちづくり会 会長)  
 ☎058-264-2760  
 事務局長：片岡 学史 1029katakoka@gmail.com

## 新たな試みに挑戦を続ける

令和6年  
4/29  
(祝)

令和6年度定期総会  
● 岐阜市歴史博物館1階講堂

何年振りでしょうか、コロナ対策を講じることができず平穩に定期総会を開催することができませんでした。来賓には谷山副市長をはじめとする市の幹部職員、晴れて叙勲を受けられた高木自治連合会長、さらには松原、橋爪お二人の地元市議をお迎えする中、全ての案件が原案どおり承認されました。また、副市長、自治連合会長からは励ましのお祝辞もいただき感謝申し上げます。

「事業報告」に入ると、四季の移ろいに対応した恒常的事業に加え、別掲にあります「まち並み勉強会」の開催（2回）や地場産業としての提灯、団扇等に関する講演、そしてその絵付け体験などが新しい内容として報告されました。



岐阜市副市長 谷山拓也様



金華自治会連合会会長 高木幹雄様

今年度も井の口まちづくり会の活動に多くの皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

(小林孝夫)



挨拶する小林孝夫会長

昨年度は般若寺におけるお月見に合わせ「狂俳」に親しむ時間も設けましたがこうした井の口に相応しい新たな試みは今後も続けてまいりたいと思います。「会計報告」に関連しては「井の口マップ」第5版の発行に伴う収入の補填が課題でしたが地域の皆様の協賛や企業の助成金によって充足できました。関係する多くの皆様方のご支援によりまちづくり活動が展開していることを再確認できた総会となりました。今年度は副市長からも紹介された岐阜公園再整備事業が計画されています。歴史的価値の高まりと賑わいの創出が図られるようですが、私たちの生活環境にも影響を与えます。あり、期待を寄せたいと思います。

### 年会費の納入をお願いします

- 金華地区会員 1口 500円
- 金華地区外会員 1口 1,000円  
※郵送料が含まれています
- 法人・団体会員 1口 1,000円

◎活動部会員も募集しています

会費の納入は、会長・副会長・事務局長・会計の役員5名へお届けいただければ幸いです。尚、井の口地区内は担当者が伺いますのでよろしくお願いいたします。

井の口まちづくり会の活動は、皆様の会費で運営されています

### 令和6年度の役員決まる

役職	氏名	住所
顧問	堀 智仙	梶川町
相談役	杉山 秀子 松原 和生 橋爪 大	本町1丁目 末広町 栄扇町
会長	小林 孝夫	大仏町
副会長	伊藤 逸夫	下茶屋町
事務局長	後藤 勝利	山口町
会計	片岡 学史	大仏町
幹事	加野 直巳	大宮町1丁目
(順不同)	安藤 安伸	梶川町
	岩佐 純一	木挽町
	鈴木 健雄	梶川町
	高橋 和江	松ヶ枝町
	高橋 紀久子	大仏町
	武井 英男	夕陽ヶ丘
	田中 敬晴	今町3丁目
	林 憲和	松山町
会計監査	篠田 壽夫	下茶屋町
	名和 利夫	松下町

新任

総会では、任期満了に伴う改選案が承認されました。相談役として新たに橋爪 大さんが加わりました。

### 板垣退助像と女神像の歴史 ～幻の彫刻家 柴田佳石～

定期総会特別講演

講師：岐阜市歴史博物館 大塚清史 氏

講師の大塚清史氏は3月まで歴史博物館の館長を勤められていた。その間に岐阜公園内の2つの銅像、板垣退助像と噴水の女神像の歴史的意義を調査された。どちらも戦前にあったものは大戦中の金属供出のために無くなったが、それぞれ昭和25年、24年に柴田佳石の作で台座はそのま利用して再建された。特に女神像は戦前のものも佳石の作だったそう。佳石は昭和43年版日本美術年鑑にもほとんど記載がなく、名前も複数を使い分けていたよう。その業績を調べるのは大変だった。そんな中で大塚氏は多くの資料にあたり、いづつもの佳石の作品を紹介された。岐阜護国神社の狛犬、四屋公園の山田省三郎翁像、戦前の金華小学校にあった関谷校長寿像、



特別講演 大塚清史様

県庁内の武藤嘉門翁像など岐阜ゆかりのものほか慶応義塾大学三田キャンパスの福沢諭吉像も佳石の作品だそう。また板垣退助像が戦前にはほぼ今の位置にあったのを、除幕式に合わせて植木屋付近に移動したが、その時に作業が間に合わず移動途中で除幕式が行われたことなど面白いエピソードも紹介された。

(加野直巳)

# 井の口まちづくり会 令和6年度 年間事業とイベント情報

令和6年  
6/9  
(H)

## 井の口地区自治会長会議

広報通信作成部会  
対象：エリア内自治会長様  
会場：正法寺 (庫裡)

毎年6月にエリア内の自治会長を招き「井の口地区自治会長会議」を行っています。井の口まちづくり会の活動内容や趣旨を説明させていただき、自治会長からはご意見やご提言を頂戴します。会の活動に理解を深めていただきご協力をお願いします。

令和6年  
9/28  
(土)

## 歴史講演会

会場：妙照寺

まちの歴史探索部会

「岐阜公園の未来」をテーマに歴史講演会を開催します。岐阜市再整備事業とPark-PFI制度により、民間事業者の資金やノウハウを活用し岐阜公園の継続的な管理や質の向上が期待されています。変わる岐阜公園の最新の情報を岐阜市の担当者から聞き、岐阜公園の未来を考えます。

令和6年  
7/20～21  
(土・日)

## 大仏フエスティブアル協賛事業 子供たちのゲームを企画

大仏フエスティブアル実行委員会と共にゲームコーナーを行っています。

令和6年  
12月  
月上旬

## 第3回 まち並み勉強会

まちの風景検討部会

「井の口のまち並みとまちづくり」

(不動産業界編)

会場：岐阜市歴史博物館講座室

令和5年度からの継続事業として「まち並み勉強会」を今年度も開催します。専門家を講師として招き、お話を伺います。井の口地区の現状を知り、未来の井の口の姿を考えます。

令和6年  
10/19  
(土)

## 井の口のお月見 ～俳句とお茶～ ススキのまちなみ展示

まちなかアート部会

開催時間：後日発表

会場：般若寺



金華山・岐阜城とお月様の絶景が楽しめる般若寺を会場にお月見の会を開催します。井の口が発祥の地とされる狂俳も楽しめます。またススキを配布し飾ってもらい、風情ある街並みを演出します。

令和7年  
2月  
下旬

## 学生まちなか寄席 第16回 井の口寄席

時間：18時開場・18時30分開演 会場：妙照寺本堂

毎年岐阜市で開催される「策伝大賞」に出演した学生落語家による寄席です。岐阜大学落語研究会と共催で選りすぐりの学生落語家が出演します。中入りには温かい豚汁を用意します。

令和7年  
1/11～13  
(土・祝)

## 第15回 大仏様への年賀状展

時間：10時～17時 会場：正法寺 (庫裡)

届けられた年賀状は、大仏様の胎内に奉納されます。

## 第15回 大仏様への年賀状 募集

まちなかアート部会

募集期間：令和6年12月16日(月)～令和7年1月6日(月)

投函場所：大仏殿入口、メゾイクス2階中央図書館、アクテイング2階

年賀郵便：〒500-8018 岐阜市大仏町8 岐阜大仏様 宛

## 本年当初の実施事業紹介

令和6年  
1/12(金)～  
14(日)

## 大仏様への年賀状展

まちなかアート部会

新年の恒例行事「大仏様への年賀状展」も14回目を迎え1月12日から3日間、大仏様の庫裏を会場に開催しました。岐阜新聞に中日新聞、朝日新聞のほか、ぎふチャン、地元ケーズルテレビの取材を受けました。例年通り岐阜小学校の児童や絵手紙グループなど、毎年この行事を楽しみに応募いただいている皆さんにより、今年も340枚の応募をいただきました。内容も大仏様への思いや感謝、お願い事が多くありました。正法寺会場後は、アクテイング、につけん小規模ホームでも展示いたしました。(伊藤逸夫)



多くの来場者を集めた年賀状展

令和6年  
2/17  
(土)

## 井の口寄席

学生まちなか寄席

第15回「井の口寄席」を87名の来場者をお迎えし、妙照寺本堂で開催いたしました。岐阜大学落語研究会のご協力で、当日長良川国際会議場で開催の「策伝大賞」出場者から女性3名を含む7名の学生に出演頂きました。学生たちは中入りを挟んで古典落語を中心に7席、学生らしくオリジナリテイにあふれて会場を笑いに包んでくれました。中入りでは2月の寒い中、身体の温まる豚汁がふるまわれ来場者の皆さんや学生たちにも好評で喜んでいただきました。演目終了後、恒例の「井の口大笑」を入場者全員の挙手で決定し、優勝者には当副会長の伊藤逸夫さんがこの日のために時間と手間をかけた手作りの特製盾が贈呈されました。皆さん笑顔でお帰りになりました。開催に際しご協力いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。次回もパワーアップした「井の口寄席」を開催いたします。



井の口大笑の贈呈



盛況だった昨年の井の口寄席

名を含む7名の学生に出演頂きました。学生たちは中入りを挟んで古典落語を中心に7席、学生らしくオリジナリテイにあふれて会場を笑いに包んでくれました。中入りでは2月の寒い中、身体の温まる豚汁がふるまわれ来場者の皆さんや学生たちにも好評で喜んでいただきました。演目終了後、恒例の「井の口大笑」を入場者全員の挙手で決定し、優勝者には当副会長の伊藤逸夫さんがこの日のために時間と手間をかけた手作りの特製盾が贈呈されました。皆さん笑顔でお帰りになりました。開催に際しご協力いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。次回もパワーアップした「井の口寄席」を開催いたします。

(岩佐純一)